

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2025年2月28日設定）
運用方針	イーストスプリング・インド国債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの現地通貨建ての国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヶ月決算型）／（年2回決算型） イーストスプリング・インド国債マザーファンド 主としてインドの現地通貨建ての国債に投資します。なお、国債以外のインドの現地通貨建てのソブリン債にも投資する場合があります。
組入制限	イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヶ月決算型）／（年2回決算型） ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・投資信託証券（マザーファンドの受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 イーストスプリング・インド国債マザーファンド ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
分配方針	（3ヶ月決算型）毎年2月、5月、8月、11月の各24日（休業日の場合は翌営業日） （年2回決算型）毎年2月24日および8月24日（休業日の場合は翌営業日） 原則として各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インド国債ファンド (3ヶ月決算型)／(年2回決算型)

(3ヶ月決算型)

第1期（決算日2025年5月26日）

第2期（決算日2025年8月25日）

(年2回決算型)

第1期（決算日2025年8月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヶ月決算型）／（年2回決算型）」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

(3ヵ月決算型)

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 (分配落)	価額				債組入比率	券率	純総資産額
		税分	込配	み金	期騰落			
(設定日) 2025年2月28日	円 10,000			円 —	% —		% —	百万円 66
1期(2025年5月26日)		10,252		50	3.0		93.5	92
2期(2025年8月25日)		10,066		50	△1.3		92.2	93

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指數を設けておりません。

○当作成期中の基準価額等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価	額		債組入比率	券率
			騰	落		
第1期	(設定日) 2025年2月28日	円 10,000		% —		% —
	3月末	10,416		4.2		91.8
	4月末	10,163		1.6		93.6
	(期 末) 2025年5月26日	10,302		3.0		93.5
第2期	(期 首) 2025年5月26日	10,252		% —		93.5
	5月末	10,320		0.7		93.6
	6月末	10,204		△0.5		92.2
	7月末	10,300		0.5		92.9
	(期 末) 2025年8月25日	10,116		△1.3		92.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(年2回決算型)

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額				債組入比率	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 謝			
(設定日) 2025年2月28日	円 10,000			円 —		% —	% —	百万円 62
1期(2025年8月25日)		10,164		0		1.6	91.9	93

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		債組入比率	券 率
		騰 落	率		
(設定日) 2025年2月28日	円 10,000		% —		% —
3月末	10,416		4.2		91.8
4月末	10,162		1.6		93.6
5月末	10,369		3.7		93.7
6月末	10,253		2.5		92.4
7月末	10,349		3.5		93.0
(期末) 2025年8月25日		10,164		1.6	91.9

(注) 謝落率は設定日比です。

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額です。

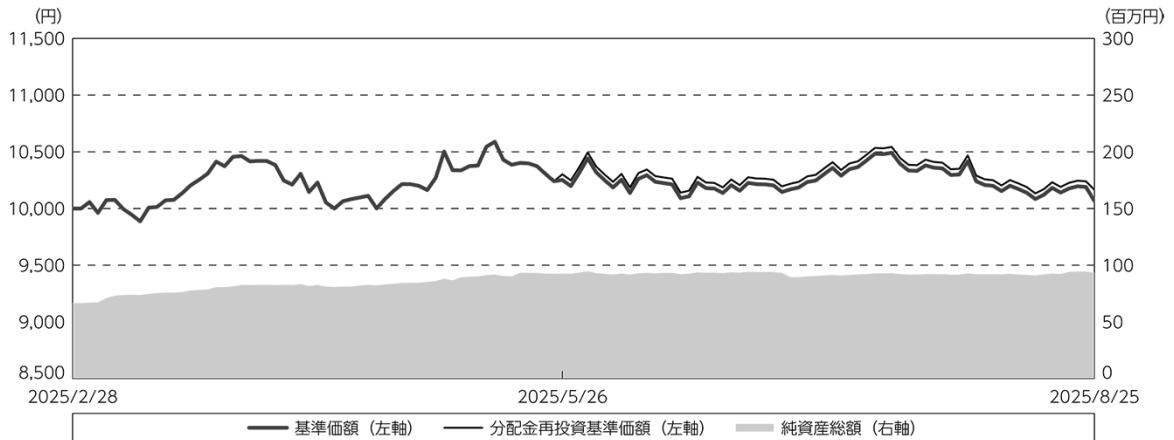
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(3ヵ月決算型)

○運用経過

(2025年2月28日～2025年8月25日)

基準価額等の推移について



設定日：10,000円

第2期末：10,066円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率： 1.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。
- (注) 設定日の基準価額は設定時の価額です。

基準価額の主な変動要因

当座成期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

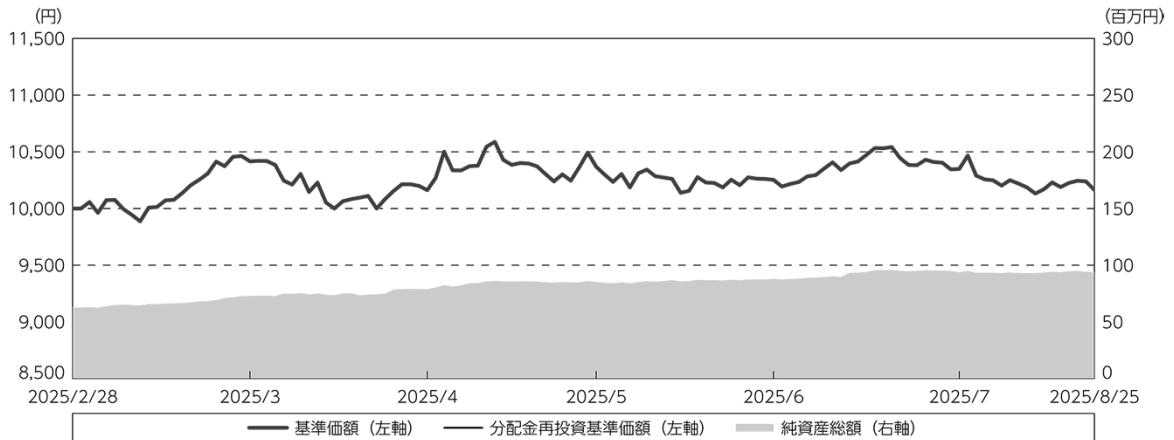
- ・債券価格の上昇(債券利回りは低下)。

(年2回決算型)

○運用経過

(2025年2月28日～2025年8月25日)

基準価額等の推移について



設定日：10,000円

期末：10,164円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 1.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。
- (注) 設定日の基準価額は設定時の価額です。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・債券価格の上昇 (債券利回りは低下)。

(3ヵ月決算型／年2回決算型)

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

インド準備銀行（RBI、中央銀行）は2025年2月から政策金利を引き下げ、その後4月、6月の金融政策決定会合でもそれぞれ政策金利を0.25%、0.50%引き下げました。インド国債利回りはRBIの利下げに連動して低下しました。しかし、RBIが6月の会合で政策金利を引き下げるとともに、金融政策スタンスを「緩和的」から「中立」に変更したことによって、更なる利下げ余地は限定的と市場参加者に受け止められたため、その後インド国債利回りは上昇に転じました。

為替市場

インドルピーは対円で下落しました。

インドルピーは、対米ドルでは2025年2月から当（作成）期末までは概ね横ばいで推移しました。米ドル円相場は、2025年1月に日銀が利上げを行いましたが、市場の追加利上げへの思惑から、日本国債利回りはその後も上昇し続け、日米金利差の縮小を背景に円高米ドル安が大きく進みました。期を通してみると、インドルピーは対円で下落しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド国債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの国債に投資しました。

イーストスプリング・インド国債マザーファンド

主としてインドの現地通貨建ての国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

(3ヵ月決算型／年2回決算型)

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設げず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(3ヵ月決算型) (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第1期	第2期
	2025年2月28日～ 2025年5月26日	2025年5月27日～ 2025年8月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	50 0.485%	50 0.494%
当期の収益	50	50
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	251	271

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 一印は該当がないことを示しています。

(年2回決算型) (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第1期
	2025年2月28日～ 2025年8月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	207

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 一印は該当がないことを示しています。

(3ヵ月決算型／年2回決算型)

○今後の運用方針について

イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド国債マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド国債マザーファンド

関税政策について米国と貿易相手国との交渉が続いていることから、各国の対米輸出と企業の設備投資に対する不透明感が続いています。そのため、足元ではインドの経済成長は減速しています。2025年8月初旬に、米国がインドからの輸出品に対して50%の関税を課したことは、インドの経済成長の大きな下振れリスクとなっています。RBIは8月の会合で市場の予想通り政策金利を据え置きましたが、外部環境や今後の物価動向を注視しながら、金融政策の方向性を慎重に見極めていく姿勢を示しました。米印間の貿易交渉がさらに長引けば、RBIは追加利下げに踏み切る可能性があると考えています。債券市場では、インド国債の需要は国内投資家や代表的な債券指数への段階的な組入れを背景とした資金流入によって十分に支えられています。また、銀行システムの流動性は依然として豊富であるにもかかわらず、貸出が大幅に増加していないことを考えると、インド国債へ資金が流れていると推察されます。投資戦略については、7月にイールドカーブがさらに急勾配となったこともあり、長期ゾーンのバリュエーションがやや魅力的になってきたと考え、デュレーションを長期化することを検討しています。

(3ヵ月決算型)

○1万口当たりの費用明細

(2025年2月28日～2025年8月25日)

項目	第1期～第2期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 43 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	% 0.415 (0.270) (0.135) (0.011)	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	21 (保管費用) (監査費用)	0.208 (0.158) (0.050)	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	64	0.623	
作成期間の平均基準価額は、10,233円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

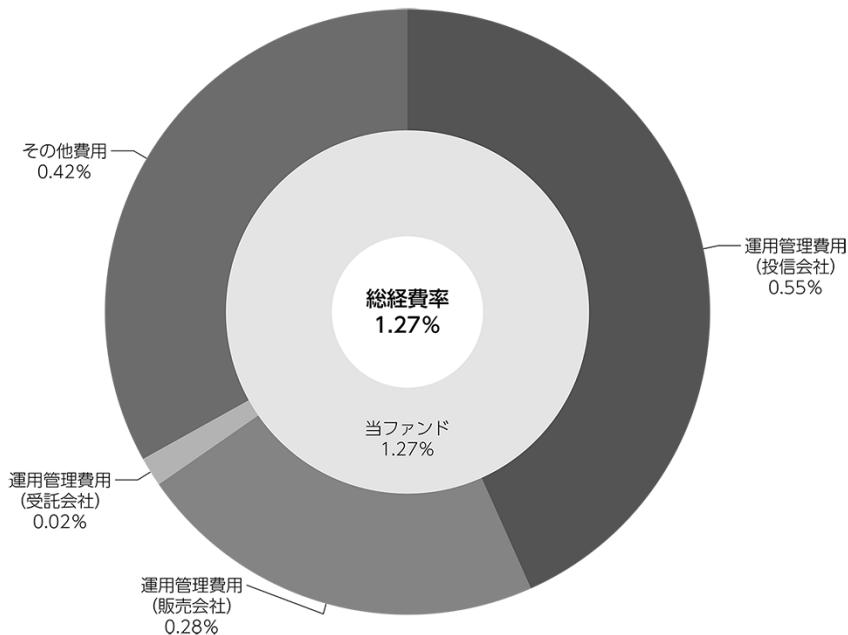
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(3ヵ月決算型)

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド国債ファンド(3ヵ月決算型)／(年2回決算型)

(3ヵ月決算型)

○売買及び取引の状況

(2025年2月28日～2025年8月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第1期～第2期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	千口 191,036	千円 99,391	千口 12,775	千円 6,766

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月28日～2025年8月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年2月28日～2025年8月25日)

設定時残高 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	作成期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 30	百万円 —	百万円 —	百万円 30	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨てです。

○組入資産の明細

(2025年8月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第2期末	
	口 数	評価額
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	千口 178,260	千円 93,979

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2025年8月25日現在の受益権総口数は、356,785千口です。

(3ヵ月決算型)

○投資信託財産の構成

(2025年8月25日現在)

項目	第2期末	
	評価額	比率
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	千円 93,979	% 98.8
コール・ローン等、その他	1,136	1.2
投資信託財産総額	95,115	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド国債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(181,411千円)の投資信託財産総額(188,861千円)に対する比率は96.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年8月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=147.45円、1インドルピー=1.70円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第1期末		第2期末	
	2025年5月26日現在	円	2025年8月25日現在	円
(A) 資産				
コール・ローン等	93,275,242	円	95,115,856	円
イーストスプリング・インド国債マザーファンド(評価額)	8,000		1,134,931	
未収入金	93,267,242		93,979,185	
未取利息	—		1,730	
(B) 負債	—		10	
未払収益分配金	645,421	円	1,837,830	円
未払解約金	451,777		463,314	
未払信託報酬	8,000		1,136,661	
その他未払費用	166,073		195,267	
19,571			42,588	
(C) 純資産総額(A-B)	92,629,821	円	93,278,026	円
元本	90,355,560		92,662,978	
次期繰越損益金	2,274,261		615,048	
(D) 受益権総口数	90,355,560口		92,662,978口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,252円	円	10,066円	円

(注) 元本の状況

当ファンドの第1期首先元本額は66,563,966円、第1～2期中追加設定元本額は41,149,922円、第1～2期中一部解約元本額は15,050,910円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第1期1,0252円、第2期1,0066円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(3ヵ月決算型)

○損益の状況

項目	第1期		第2期	
	2025年2月28日～ 2025年5月26日		2025年5月27日～ 2025年8月25日	
(A) 配当等収益		円		円
受取利息	323		323	101
(B) 有価証券売買損益	2,342,034		△1,010,686	
売買益	2,460,568		64,233	
売買損	△ 118,534		△1,074,919	
(C) 信託報酬等	△ 185,644		△ 218,284	
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,156,713		△1,228,869	
(E) 前期繰越損益金	—		1,571,213	
(F) 追加信託差損益金	569,325		736,018	
(配当等相当額)	(—)		(312,541)	
(売買損益相当額)	(569,325)		(423,477)	
(G) 計(D+E+F)	2,726,038		1,078,362	
(H) 収益分配金	△ 451,777		△ 463,314	
次期繰越損益金(G+H)	2,274,261		615,048	
追加信託差損益金	569,325		736,018	
(配当等相当額)	(120,584)		(354,503)	
(売買損益相当額)	(448,741)		(381,515)	
分配準備積立金	1,704,936		2,165,654	
繰越損益金	—		△2,286,624	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の25を上限とする率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

第1期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(905,934円)、費用控除後の有価証券売買等損益(1,250,779円)、および信託約款に規定する収益調整金(569,325円)より分配対象収益は2,726,038円(10,000口当たり301円)であり、うち451,777円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

第2期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,057,755円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(354,503円)および分配準備積立金(1,571,213円)より分配対象収益は2,983,471円(10,000口当たり321円)であり、うち463,314円(10,000口当たり50円)を分配金額としております。

(3ヵ月決算型)

○分配金のお知らせ

	第1期	第2期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	50円

◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

○お知らせ

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、2025年4月1日付で「運用報告書に記載すべき事項の提供」に係る条文を「運用状況に係る情報の提供」に変更するため信託約款に所要の変更を行いました。

(年2回決算型)

○1万口当たりの費用明細

(2025年2月28日～2025年8月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 43	% 0.415	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(28)	(0.270)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(14)	(0.135)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	21	0.208	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(16)	(0.158)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(5)	(0.050)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	64	0.623	
期中の平均基準価額は、10,258円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

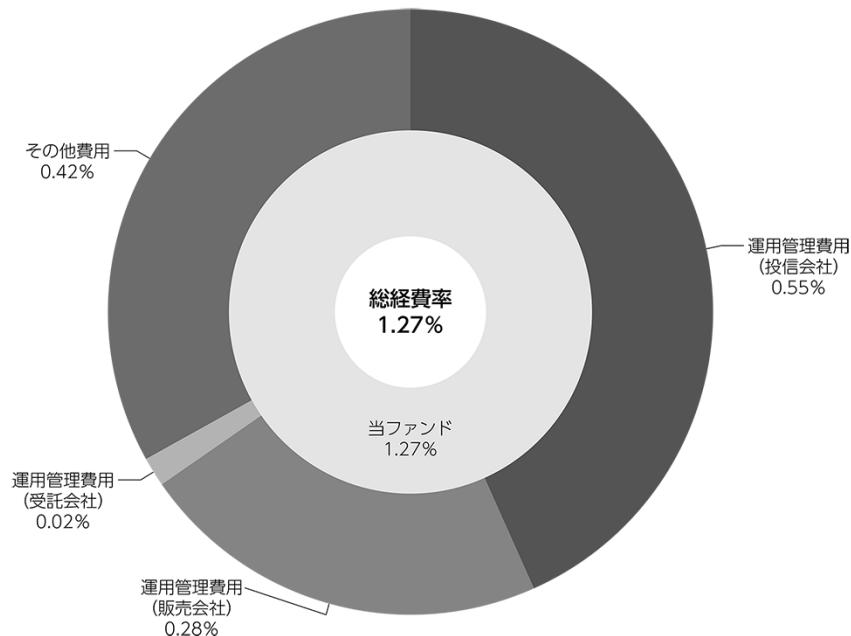
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(年2回決算型)

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(年2回決算型)

○売買及び取引の状況

(2025年2月28日～2025年8月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	千口 187,909	千円 98,003	千口 9,384	千円 4,949

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月28日～2025年8月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年2月28日～2025年8月25日)

設定時残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
百万円 30	百万円 —	百万円 —	百万円 30	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨てです。

○組入資産の明細

(2025年8月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	当 期 末	
	口 数	評 價 額
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	千口 178,524	千円 94,118

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2025年8月25日現在の受益権総口数は、356,785千口です。

(年2回決算型)

○投資信託財産の構成

(2025年8月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	千円 94,118	% 98.8
コール・ローン等、その他	1,120	1.2
投資信託財産総額	95,238	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド国債マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（181,411千円）の投資信託財産総額（188,861千円）に対する比率は96.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年8月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=147.45円、1インドルピー=1.70円です。

(年2回決算型)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	95,238,616円
コール・ローン等	371,782
イーストスプリング・インド国債マザーファンド(評価額)	94,118,008
未収入金	748,823
未収利息	3
(B) 負債	1,502,855
未払解約金	1,120,605
未払信託報酬	341,960
その他未払費用	40,290
(C) 純資産総額(A-B)	93,735,761
元本	92,220,087
次期繰越損益金	1,515,674
(D) 受益権総口数	92,220,087口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,164円

(注) 元本の状況

設定元本額	62,646,700円
期中追加設定元本額	36,898,647円
期中一部解約元本額	7,325,260円

(注) 1口当たり純資産額は1,0164円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6 第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2025年2月28日～2025年8月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	88
受取利息	88
(B) 有価証券売買損益	960,997
売買益	1,081,728
売買損	△ 120,731
(C) 信託報酬等	△ 382,250
(D) 当期損益金(A+B+C)	578,835
(E) 追加信託差損益金	936,839
(売買損益相当額)	(936,839)
(F) 計(D+E)	1,515,674
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	1,515,674
追加信託差損益金	936,839
(配当等相当額)	(151,179)
(売買損益相当額)	(785,660)
分配準備積立金	1,766,559
繰越損益金	△1,187,724

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の25を上限とする率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,766,559円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(151,179円)より分配対象収益は1,917,738円(10,000口当たり207円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送させていただきました。

○お知らせ

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、2025年4月1日付で「運用報告書に記載すべき事項の提供」に係る条文を「運用状況に係る情報の提供」に変更するため信託約款に所要の変更を行いました。

イーストスプリング・インド国債マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日：2025年8月25日）
(計算期間：2024年8月26日～2025年8月25日)

「イーストスプリング・インド国債マザーファンド」の第1期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの現地通貨建ての国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	主としてインドの現地通貨建ての国債に投資します。なお、国債以外のインドの現地通貨建てのソブリン債にも投資する場合があります。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">外貨建資産への投資割合には制限を設けません。株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	債組	入 比	券 率	純 資 産 額	期	中	
						騰	落	率
(設定日) 2024年8月26日	円 10,000			% —	% —			百万円 1
1期(2025年8月25日)	5,272			△47.3	91.6			188

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産額は設定当初の元本額を記載しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

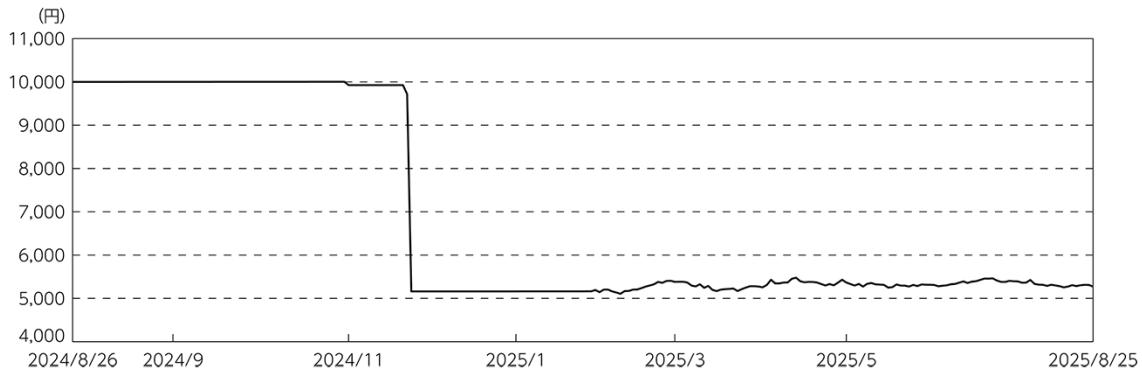
○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	債組	入 比	券 率	期	中	
					騰	落	率
(設定日) 2024年8月26日	円 10,000			% —			% —
8月末	10,000			0.0			—
9月末	10,001			0.0			—
10月末	10,002			0.0			—
11月末	9,926			△ 0.7			—
12月末	5,161			△48.4			—
2025年1月末	5,161			△48.4			—
2月末	5,163			△48.4			—
3月末	5,382			△46.2			91.7
4月末	5,255			△47.5			93.4
5月末	5,366			△46.3			93.6
6月末	5,310			△46.9			92.1
7月末	5,364			△46.4			92.7
(期末) 2025年8月25日	5,272			△47.3			91.6

(注) 謄落率は設定日比です。

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額です。

基準価額の推移について



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

インドの現地口座開設に伴う諸費用。

(上昇要因)

債券価格の上昇（債券利回りは低下）。

投資環境について

インド債券市場

インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

2024年8月から2025年1月は、米国の利下げペースが緩やかになるとの観測が広がったことなどにより、多くの国で債券利回りが上昇した一方で、インド国債利回りは比較的横ばい圏で推移しました。インド準備銀行(RBI、中央銀行)は2024年12月の金融政策決定会合で預金準備率を引き下げ、事実上の金融緩和に踏み切りました。RBIは2025年2月から政策金利を引き下げ、その後4月、6月の金融政策決定会合でもそれぞれ政策金利を0.25%、0.50%引き下げました。インド国債利回りはRBIの利下げに連動して低下しました。しかし、RBIが6月の会合で政策金利を引き下げるとともに、金融政策スタンスを「緩和的」から「中立」に変更したことによって、更なる利下げ余地は限定的と市場参加者に受け止められたため、その後インド国債利回りは上昇に転じました。

為替市場

インドルピーは、当期を通じて対米ドルで下落しました。2024年8月から2025年1月にかけて、米ドルが対主要通貨で上昇したことを背景にインドルピーは対米ドルで下落しました。2025年2月から当期末までは概ね横ばいで推移しました。米ドル円相場では、2025年1月に日銀が利上げを行いましたが、市場の追加利上げ

への思惑から、日本国債利回りはその後も上昇し続け、日米金利差の縮小を背景に円高米ドル安が大きく進みました。期を通してみると、インドルピーは対円で下落しました。

ポートフォリオについて

主としてインドの国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

○今後の運用方針について

関税政策について米国と貿易相手国との交渉が続いていることから、各国の対米輸出および企業の設備投資に対する不透明感が続いています。そのため、足元ではインドの経済成長は減速しています。2025年8月初旬に、米国がインドからの輸出品に対して50%の関税を課したことは、インドの経済成長に対する大きな下振れリスクとなっています。RBIは8月の会合で市場予想通り政策金利を据え置きましたが、外部環境や今後の物価動向を注視しながら、金融政策の方向性を慎重に見極めていく姿勢を示しました。米印間の貿易交渉がさらに長引けば、RBIは追加利下げに踏み切る可能性があると考えています。債券市場では、インド国債の需要は国内投資家や代表的な債券指標への段階的な組み入れを背景とした資金流入によって十分に支えられています。また、銀行システムの流動性は依然として豊富であるにもかかわらず、貸出が大幅に増加していないことを考えると、インド国債へ資金が流れていると推察されます。投資戦略については、7月にイールドカーブがさらに急勾配となったこともあり、長期ゾーンのバリュエーションがやや魅力的になってきたと考え、デュレーションを長期化することを検討しています。

○1万口当たりの費用明細

(2024年8月26日～2025年8月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用	円 48	% 0.695	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(　保管費用　)	(17)	(0.244)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(　その他の1　)	(31)	(0.451)	信託管理事務に係る手数料
合計	48	0.695	
期中の平均基準価額は、6,840円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年8月26日～2025年8月25日)

公社債

外 国	印度	国債証券	買付額	売付額
			千インドルピー 101,578	千インドルピー —

(注) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月26日～2025年8月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年8月25日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
インド	千インドルピー 98,800	千インドルピー 101,305	千円 172,219	% 91.6	% 0.0	% 91.6	% —	% —
合計	98,800	101,305	172,219	91.6	0.0	91.6	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 一印は組入れなしです。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利率	額面金額	当期末			償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	千円	
インド	%	千インドルピー	千インドルピー			
国債証券	6.79% INDIA GOVT BOND 6.92% INDIA GOVT BOND 7.09% INDIA GOVT BOND 7.1% INDIA GOVT BOND 7.18% INDIA GOVT BOND 7.18% INDIA GOVT BOND 7.23% INDIA GOVT BOND 7.3% INDIA GOVT BOND 7.54% INDIA GOVT BOND	6.79 6.92 7.09 7.1 7.18 7.18 7.23 7.3 7.54	2,000 3,300 5,500 37,500 23,000 16,500 1,500 7,500 2,000	2,033 3,314 5,447 38,541 23,753 16,985 1,547 7,570 2,110	3,457 5,635 9,260 65,521 40,380 28,875 2,631 12,870 3,588	2031/12/30 2039/11/18 2054/8/5 2034/4/8 2033/8/14 2037/7/24 2039/4/15 2053/6/19 2036/5/23
合計					172,219	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2025年8月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 172,219	% 91.2
コール・ローン等、その他	16,642	8.8
投資信託財産総額	188,861	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 外貨建純資産（181,411千円）の投資信託財産総額（188,861千円）に対する比率は96.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、2025年8月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=147.45円、1インドルピー=1.70円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年8月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	188,861,668
公社債(評価額)	14,410,001
未収利息	172,219,475
前払費用	2,099,543
前払費用	132,649
(B) 負債	750,553
未払解約金	750,553
(C) 純資産総額(A-B)	188,111,115
元本	356,785,269
次期繰越損益金	△168,674,154
(D) 受益権総口数	356,785,269口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,272円

(注) 元本の状況

設定元本額	1,000,000円
期中追加設定元本額	378,945,753円
期中一部解約元本額	23,160,484円
期末における元本の内訳	
イーストスプリング・インド国債ファンド (年2回決算型)	
178,524,295円	
イーストスプリング・インド国債ファンド (3ヶ月決算型)	
178,260,974円	

(注) 1口当たり純資産額は0.5272円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2024年8月26日～2025年8月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	4,399,827
(B) 有価証券売買損益	△ 1,685,607
売買益	976,688
売買損	△ 2,662,295
(C) 保管費用等	△ 746,174
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,968,046
(E) 追加信託差損益金	△181,550,615
(F) 解約差損益金	10,908,415
(G) 計(D+E+F)	△168,674,154
次期繰越損益金(G)	△168,674,154

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、2025年4月1日付で「運用報告書に記載すべき事項の提供」に係る条文を「運用状況に係る情報の提供」に変更するため信託約款に所要の変更を行いました。